

回答書（令和8年8月27日時点）

No.	資料名・項目	質問内容
1	仕様書 4.(1) ア① 講習会の開催	講習会5回以上について、同日に複数回実施する、又は2～3日間の現地滞在中に複数回を実施するなど、開催日程を複数日に集約することは可能でしょうか。
	回答	可能です。同日に複数回の講習を実施することや、数日間に複数回を集約して実施することも可能とします。 ただし、受講者の負担や学習効果、会場の利用状況等を踏まえた日程としてください。 また、企画提案時には、講座全体の構成とあわせて、現時点で想定する開催日程や各回の実施時期・時間帯等について示してください。 なお、具体的な開催日程については、提案内容及び会場の利用状況等を踏まえ、契約後に市と受託者で協議の上決定するものとします。
2	仕様書 4.(1) ア①・④ 講習会の開催	講座の開催時期、曜日及び時間帯について、市として想定している時期や条件があれば御教示ください。 また、平日夜間又は土日開催の可否、市が確保する会場の利用可能時間に制約がある場合は、併せて御教示ください。
	回答	講座の開催時期については、令和8年11月中旬から令和9年2月中旬までを想定しています。また、市内事業者等が参加しやすい時間帯を考慮し、平日夜間や土日の開催も可能です。ただし、具体的な開催日、曜日及び時間帯については、会場の予約状況等も踏まえ、契約後に市と受託者で協議の上決定するものとします。
3	仕様書 4.(1) ア④ 講習会の開催	市が確保する会場のインターネット接続環境について、生成AIサービスやWebサービスの利用に関するアクセス制限等がある場合は御教示ください。
	回答	現時点では、講座で使用する生成AIサービスやWebサービスが確定していないため、個別サービスの利用可否について一律にお示しすることはできません。企画提案時に使用を想定するAI・デジタルツール等を示していただき、契約後、講座開催前に市と受託者で会場のインターネット接続環境を確認することとします。アクセス制限等がある場合は、可能な範囲で利用できるよう対応を検討します。
4	仕様書 4.(1) ア④ 講習会の開催	特定の有料AIサービスへの加入を受講条件としないことを前提として、受託者側のアカウントを使用したデモンストレーションや、有料機能の紹介を行うことは可能でしょうか。
	回答	可能です。特定の有料AIサービスへの加入を受講条件としないことを前提として、受託者が保有するアカウント等を用いたデモンストレーションや、有料機能の紹介を行うことは差し支えありません。ただし、受講者に有料サービスへの加入や費用負担を求めることなく、各サービスの利用規約等を遵守した上で実施してください。
5	仕様書 4.(1) ウ① 受講者の募集・受付等	仕様書では、受託者が委託者と協議の上、受講者募集に係る広報等を行うこととされていますが、市公式ホームページ・SNS等への掲載や、商工関係団体等への周知依頼など、委託者に御協力いただける広報の範囲について御教示ください。 また、適切な募集広報を実施したにもかかわらず定員20名に達しなかった場合の取扱いについても、併せて御教示ください。
	回答	市においては、奄美市公式ホームページ及び公式SNSでの情報発信、地元経済団体等への周知依頼を予定しています。なお、適切な募集広報を実施したにもかかわらず定員に達しなかったことをもって、ペナルティを課すことは想定していません。ただし、申込状況が低調な場合は、市と受託者で協議の上、追加の周知等、必要な対応を行うことを想定しています。
6	仕様書 4.(2) 受講対象者及び定員	各講習会は、原則として同一の受講者20名が全講座を連続して受講する想定でしょうか。それとも、講座ごとに異なる受講者の参加も想定されていますでしょうか。
	回答	原則として、同一の受講者が全講座を連続して受講することを想定しています。各回の講座を通じて段階的に知識・スキルを習得し、最終的に90日アクションプランの作成等につなげることを想定しているため、講座ごとに異なる受講者を募集する形式は想定していません。